地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)			
理念に基づく運営						
1. 理念と共有						
○地域密着型サービスとしての理念						
地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独 自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を掲げ、職員にも話しをしている。					
○理念の共有と日々の取り組み						
管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	定期的な会議、勉強会等を通して運営上の方針や目標の実現に向けて話をし、取り組んでいる。	0	新人職員も多い為、全職員が理念を共有出来る様 に取りくんでいく。			
○家族や地域への理念の浸透						
事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時の説明でも入居者及び家族へ具体的に行っている。					
- 地域との支えあい						
○隣近所とのつきあい						
管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるように 努めている	近隣の方が分かる様に表札等の設置をしているが、日常的なつきあいが少ない。		近隣者との交流の場(行事等)を生かし、気軽に 立ち寄る事が出来る様に話をしている。			
○地域とのつきあい						
事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加したり、事業所の行事に参加を促したり、交流する機会を設けている。		地域との交流は重要なことである為、今後も地域 の行事、事業所側の行事へ参加してもらう等交流 する機会を増やしていきたい。			
	理念に基づく運営 ②と共有 ②地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることをの理念をしている とをの理念を力をのかられている の理念の共有と日々の取り組み 管理者と、関連のででである ②家族や地域への理念の浸透 事業との支えあい ③隣近所とのつきあい 「管理者や取りと気を共のしてもらえるよう取り組んで があるとに理解してもらえるよう取り組んで がないる がないる がないる がは、気軽軽にいがあい でに要解している がは、気軽をいる がは、気軽をいる がは、気軽をいる がは、気軽をいる がは、気軽をいる がは、気軽をいる がは、気があい のは、気があい のは、気があい でに要がいる がは、気があい では、気があい では、した、した、で流がない。 のは、した、した、ことない。 はい、した、ことない。 はい、した、ことない。 はい、した、ことない。 はい、した、ことない。 はい、ことない。 はい、ことないいがいい。 はい、ことないいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいが	理念に基づく運営 理念に基づく運営 理念に基づく運営 理念に基づく運営 理念と共有 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を掲げ、職員にも話しをしている。 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 (○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 地域との支えあい ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努	理念に基づく運営 理念に基づく運営 理念に基づく運営 理念に基づく運営 理念と共有 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を掲げ、職員にも話しをしている。 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて話をし、取り組んでいる。 ②家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 おはどの支えあい ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声がけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように 労めている ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加したり、事業所の行事に参加をして、6つに参加したり、交流する機会を設けている。 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加したり、東業所の行事に参加をして、近隣の行事に参加したり、東業所の行事に参加をして、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加したり、東業所の行事に参加をして、近隣の行事に参加したり、交流する機会を設けている。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	行事の参加はあるが、左記の様な話し合いの場が ない。	0	地域の中で、何か出来る事はないか話し合う様な 場を設定していく。
3. ∄	里念を実践するための制度の理解と活用			
	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を実施する目的について、話をしている。又、自己評価票・評価結果報告書を各館へ掲示している。外部評価後は、ミーティング等を活用し職員へ報告、改善に向けて取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	運営推進会議の中で報告を行っている。その中で出た意見を職員へも報告し、サービス向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	運営推進会議以外でも事業所側からの相談やアド バイスを頂いたりとサービスの質の向上に取り組 んでいる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人に はそれらを活用できるよう支援している	権利擁護事業等を活用出来る様に支援している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	現在のところ、自宅や事業所等での虐待は見られないが、勉強会等で学ぶ機会が少ない。	0	勉強会、研修等への参加をしていく。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)		
4. 理	4. 理念を実践するための体制					
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者 や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書を活用し、家族への説明 を行い、同意を頂いている。				
	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情窓口は、担当者を決め掲示している。 又、意見箱の設置も行っている。				
	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、出納帳を活用している。 又、所定の用紙に出・入金を記入し、その下に生 活の状況を記入して定期的に家族へ郵送してい る。三ヶ月に1回のホーム便りも発行している。				
	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口を設けている。又、各館へ意見箱の設置をしている。				
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の 意見や提案を聞く機会を設け、反映させて いる	月1回のミーティングで話を聞く機会を設けてお り、反映出来るようにしている。				
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員 を確保するための話し合いや勤務の調整に 努めている	状況に応じた職員配置となっている。				

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職等があった場合は、入居者の方へ話しをしている。又、新しく入社した職員には、入居者の方へ挨拶をしてもらう様にしている。		
5. ,	人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて 育成するための計画をたて、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	採用後、1週間の新人教育にて認知症介護や介護の基礎知識を勉強し、介護体験などにより入居者の心境などについても理解してもらっている。 又、段階に応じて外部の研修会への参加も促しており、他職員への報告も行っている。職員へ周知出来る様、復命書の活用も行っている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	法人内の勉強会や交流、地域の勉強会や各施設の 訪問等も行っている。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	法人の行事 (ミニバレー大会) や定期的な食事会 等を行っている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	定期的な面接等を通じ、各職員が目標設定を出来 る様に努めている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)		
II .5	Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. ‡	目談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
	○初期に築く本人との信頼関係					
23	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	訪問調査を行い話しを聞く様にしている。入居後 も、本人の思いを大事にし話しを聞ける様に配慮 している。				
	○初期に築く家族との信頼関係					
24	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	訪問調査時に話しを聞く機会を設けている。又、 利用中でも面会時や定期的な面談の中で話しを聞 く機会を設けている。				
	○初期対応の見極めと支援					
25	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族・担当ケアマネージャーも含めて話し をする機会を設け対応している。				
	○馴染みながらのサービス利用					
26	本人が安心し、納得した上でサービスを 利用するために、サービスをいきなり開始 するのではなく、職員や他の利用者、場の 雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談 しながら工夫している	入居相談があった場合は、本人・家族に見学へ来 てもらい雰囲気を見てもらっている。必要に応じ て担当のケアマネージャーも同行してもらってい る。				
2. 🛊	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
	○本人と共に過ごし支えあう関係					
27	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共 にし、本人から学んだり、支えあう関係を 築いている	何かをする時は、本人と職員が一緒に行うように している。お互いが支えあいながら生活してい る。				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事参加等を活用し、本人と一緒に楽しんでも らったりしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事に参加して頂いたり、本人と落ち着いて話し をしたり出来る空間を作っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	本人が、今までに利用してきた理・美容室や、近隣の人との交流が出来るようにしている。又、近隣の方が事業所の方へ面会に来られたりと関係が途切れない様に支援している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	仲の良い利用者との話しや、一緒に行動が出来る 様に職員が配慮している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継 続的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している	他事業所との連携をとっていることの説明と、 困った事があった場合にいつでも連絡して下さる 様に話しをしている。		

		取り組みの事実	○印	取り組んでいきたい内容
	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取組んでいき たい項目)	(すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ.	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネ	ジメント		
1	-人ひとりの把握			
	○思いや意向の把握			
33	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	個々の入居者との日常会話の中で、本人の訴えや 要望・希望等について話しを聞き、返答に対して も本人へ分かりやすく話しをしている。		
	○これまでの暮らしの把握	家族からの情報や担当ケアマネージャーからの情		
34	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている	報も頂いている。又、利用者の方が生活していた生活環境を把握する為に、自宅への訪問等も行っている。		
	○暮らしの現状の把握	日頃過ごしている中で、心身の状態、出来ること		
35	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	出来ないこと、気付いた点を、記録、申し送り、 会議の中で話しをしていき、把握できる様に努め ている。		
2. 7	k人がより良く暮らし続けるための介護計画の作	成と見直し		
	○チームでつくる利用者本位の介護計画			
36	本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族・職員又、併設の専門職等に相談・アドバイスをもらっている。		
	○現状に即した介護計画の見直し			
37	介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	定期的な介護計画の見直しは出来ている。状態変化等があった場合も、その時の状況に応じて話し合いをし、計画を作成している。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	○個別の記録と実践への反映				
38	日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	介護記録を使用し記録している。各スタッフが、 理解出来る記録をしている。			
3. 🖠	ろ機能性を活かした柔軟な支援				
	○事業所の多機能性を活かした支援				
39	本人や家族の状況、その時々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	短期利用・通所介護など要望に応じた体制を整え ている。			
4. 4	 よ人がより良く暮らし続けるための地域資源との	劦働			
	○地域資源との協働	必要に応じて民生委員の方への相談や行事等への			
40	本人の意向や必要性に応じて、民生委員 やボランティア、警察、消防、文化・教育 機関等と協力しながら支援している	必要に応して民生委員の方への相談や打事等への ボランティアの方からの協力、避難訓練や緊急時 の対応についての勉強会等への協力を頂いてい る。			
	○他のサービスの活用支援				
41	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて地域のケアマネージャーや併設の相 談員との連携を図っている。			
	○地域包括支援センターとの協働				
42	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働し ている	地域包括支援センターとの協働の場がない。	0	協働出来る場を設ける。	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	○かかりつけ医の受診支援			
43	本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を 築きながら、適切な医療を受けられるよう に支援している	本人・家族と話しをし、希望されるかかりつけ医 への受診を行っている。		
	○認知症の専門医等の受診支援			
44	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医への相談を行い、必要に応じて専門 医等への受診が出来る様に配慮している。		
	○看護職との協働			
45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域 の看護職と気軽に相談しながら、日常の健 康管理や医療活用の支援をしている	事業所に看護師を配置。又、併設の看護師へ相談 出来る体制が整っている。		
	○早期退院に向けた医療機関との協働			
46	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医療機関との定期的な会議を行っている。 又、状況に応じて話し合いが出来る様に協力している。		
	○重度化や終末期に向けた方針の共有			
	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医の協力をもとに、本人や家族に話し合いが出来る様にしている。又、全員で方針を共有している。		
	○重度化や終末期に向けたチームでの支援			
48		かかりつけ医や担当医の協力をもとに家族の方と話し合いの場を設けている。又、併設の相談員や他事業所のケアマネージャーとの連絡調整を行っている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取組んでいき	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
		(天旭している) 台下・天旭していない (14)	たい項目)	() C (C IX/MI/// C V · 分 C C O B G /	
	○住み替え時の協働によるダメージの防止				
49	本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	退所時サマリー等を活用し、関係者と情報交換を 行っている。			
IV.	その人らしい暮らしを続けるための日々のま	₹援			
1. ₹	その人らしい暮らしの支援				
(1)	一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底	勉強会等において、人権の尊重・プライバシーの			
50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	保護・職員の対応による入居者への影響も含めた 勉強をしているが、新人職員も多く完全なものと はなっていない。	0	勉強会等を継続していき、全職員が周知出来る様 に取り組んでいく。	
	○利用者の希望の表出や自己決定の支援				
51	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	スタッフのペースで動いたり、出来る事について も手助けする場面が見られる。	0	1人1人の思いや、希望で生活が出来る様に職員 教育をしていく。	
	○日々のその人らしい暮らし				
52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状況により、職員側の都合を優先してしまう事がある。		常に入居者の希望に添える様に業務の改善等を工夫する必要がある。	
(2)	(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
	○身だしなみやおしゃれの支援				
53	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その日着る服を一緒に選んだり、理・美容室については本人の望む店に行くことが出来ている。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをしてい る	1人1人の出来る事、出来ない事を把握し、本人 の出来る事を生かしながら職員と一緒に行ってい る。			
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物を利用し、本人の好みの物を買って来れる 様に支援している。			
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	排泄の失敗や出来る限りオムツを使用せず生活出 来る様に入居者に応じて表を活用し、排泄パター ンを把握出来る様にしている。			
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	入居者の個別の希望に応じて毎日、入浴可能としている。特別指定した時間での入浴は行っておらず、入居者に合わせた入浴となっている。			
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	個人に合わせた昼間の活動をして、夜間の安眠が 出来る様に支援している。			
(3)	(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人1人に無理のない様に役割を持ってもらい、 それぞれの場面で活躍出来る様に支援している。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	トラブルを起こさない範囲での本人管理としている。管理出来ない利用者であっても家族が許可されれば持ってもらっている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと	天気の良い日は、ドライブ、買い物、散歩、地域 行事の見学、学校訪問等行っている。出来る限り 希望に添えるように支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者の希望に応じて、家族へ連絡し墓参りやふ るさと訪問などを行っている。		
63		家族や知人からの手紙は、本人へ直接手渡し、本 人からの手紙も送れるようになっている。電話 は、日常的に利用出来る様に配慮している。		
64		いつでも訪問出来る配慮をしている。訪問時の歓迎、お茶だし等行い、ゆっくりとした雰囲気の中で過ごせる様にしている。		
(4)	(4)安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	会議・勉強会への参加をすることで職員1人1人 が正しく認識を持つことが出来ており身体拘束は 行っていない。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠を行わず、家族等の出入りは自由に なっている。安全面を考慮して玄関のセンサーに て対応している。入居者が1人で外へ出られたり した場合は、見守りを行っている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者の近くで記録等を行い、見守りなど出 来るように配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	ハイター・包丁等危険が伴う物に関しては、入居者の手の届かない場所へ保管している。危険な物品を使用する場合は必ずスタッフが見守り、管理する様にしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書・ひやりはっと報告書を使用し今後同 じ事故等が発生しない様に話し合いをしている。 又、マニュアルを作成し、いつでも目を通せるよ うに保管場所を決めて置いている。		
70		定期的な勉強会への参加、マニュアルの作成等 行っているが、すべての職員が熟知出来ていない。	0	勉強会等の継続。日常の業務の中で指導をしてい く。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている	定期的な防災訓練等は行っているが、地域の方へ の協力、働きかけは出来ていない。	0	防災訓練等への参加、日頃からの協力をもらえる ように働きかけをしていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	契約時、家族面談時等でリスクについて話しをしている。又、必要に応じて話しをする機会を設けている。		
(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを行い、水分・食事量・ 排便チェックの記録を定期的に医師へ報告してい る。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	把握しており、目的や副作用、用法や用量を承知 した上での服薬管理を行っている。症状の変化に 関しても、日々の観察の中で行っている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲食物(ほうじ・はぶ茶、牛乳)の飲用を促している。日中は出来るだけ外に出たり、散歩・体操などの工夫をしている。		
76		自主的に口腔内のケアが出来ない入居者について は、声かけを行っている。その都度、出血・炎症 のチェックは行っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人一人の摂取カロリーは、おおよそ把握 出来ている。食の細い方、食欲のない方などその 時の状況に応じてチェック表を用い把握出来てい る。又、併設の栄養士との相談も行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)		
	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している(インフルエンザ、疥 癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種の声かけを全入居者へ行い接種をお願いしている。湿疹等に対しては、皮膚の観察・入浴回数・週一回のシーツ交換などを行い気を付けている。又、感染対策のマニュアル・勉強会もあり、マニュアルに関しては、いつでも目が通せる様になっている。				
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場として の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新 鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所・調理用具等は、ハイターや熱湯消毒をしている。食材は、その日に食べる物をその日に買い物に行く等、新鮮で安全な食材管理を行っている。				
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親し みやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている	家族や近隣の方々が出入りしやすい玄関を設け表札も設置している。				
	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとっ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	設備などは家庭的な雰囲気を有している。ソファーや畳の間を設け入居者が自由に過ごせる空間を確保し、物品や飾り物などの工夫も行っている。				
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー・ソファー・又は、本人の居室、外気浴 が出来る様に玄関近くに椅子を準備しておきそこ で思い思いに過ごして頂いている。				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	族と相談しながら、使い慣れたものや好み	入居時等に、出来るだけ使い慣れた生活用品を持ち込んでもらえる様に声かけを行っている。その人らしい安心して過ごせる生活空間作りに取り組んでいる。		今後も、居心地良く生活して頂く為に、面会等を 利用して個々の生活空間が作れる様に工夫してい きたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	音の大きさ、光の強さは常に職員が配慮している。トイレ天井に空気清浄機を設置して消臭を行っている。又、加湿器も天井埋め込み式となっており、常に温度・湿度管理を行っている。		
(2)	本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	トイレ・フロアー・玄関・脱衣所・風呂場は滑りにくい構造となっており、手すりの設置も必要とされる場所へ備えている。又、台所や洗面所など車椅子でも使用できる高さとなっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	各居室へ表札としての名札を設け、トイレ・風呂 場に分かりやすい様に表示をしている。又、誤認 や錯覚など引き起こす状態にならない様に職員で 配慮し、注意をしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関横へ休憩所を作り会話の場としている。又、 花壇やプランターに季節の花を植えており、季節 の植物を通して季節感を感じる事が出来ている。 職員・利用者の方とのコミュニケーションの場と なっている。		

部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目					
項目		最も近い選択肢の左欄に〇をつけてください。			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意 向を掴んでいる	0	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない		
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	0	①毎日ある②数日に1回程度ある③たまにある④ほとんどない		
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
91	利用者は、職員が支援することで生き生きし た表情や姿がみられている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた 柔軟な支援により、安心して暮らせている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、 求めていることをよく聴いており、信頼関係が できている	0	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない		

項目			最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
	通いの場やグループホームに馴染みの人や 地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度
96		0	③たまに
			④ほとんどない
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の 関係者とのつながりが拡がったり深まり、事 業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
97		0	②少しずつ増えている
37			③あまり増えていない
			④全くいない
	職員は、活き活きと働けている	0	①ほぼ全ての職員が
98			②職員の2/3くらいが
90			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て、利用者はサービスにおおむ ね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
99		0	②利用者の2/3くらいが
99			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て、利用者の家族等はサービス におおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
100		0	②家族等の2/3くらいが
100			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

事業所の中だけで過ごすのではなく、外へ出る機会を増やしています。又、地域の方との交流(行事・学校訪問等)も出来る限り取り入れる様にしています。